

新規作成をしよう

ComicStudio 4.0では、起動時にあらかじめ新しいページが作られています。落書きをする時はそこにどんどん描いていけばいいのですが、マンガのような複数のページの作品を作ったり、ハガキサイズの絵が描きたい！という時は、自分で「新規作成」する必要があります。（ちなみに、起動時に作られるファイルは、環境設定で変更していない場合、A4サイズの用紙が作られます。）

なにはなくとも新規作成

千里の道も一歩から。作品制作の第一歩は「新規作成」からです。Photoshopだとイラストなんかを描いたり、塗ったりする場合、「新規作成」もしくは「画像ファイル（JPEG、PSD等）を開いて編集」の2つの選択肢があります。ComicStudioの場合、画像ファイル（JPEG、PSD等）を編集したい時、ComicStudioで作った作品ファイル、ページファイルに画像ファイルを読み込んでから編集する…という流れになるので、どんな作業をはじめのでも、とりえず新規作成から作品ファイルを作る必要があるワケです。

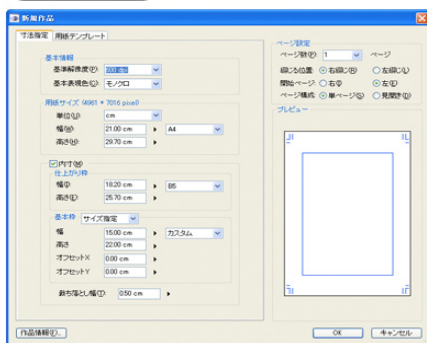
では、実際にファイルメニューの「新規作成」から作品ファイルを作ってみましょう。ファイルメニューの「新規作成」を選ぶと、「作品」か「ページ」のいずれかの形式を選ぶことができます。

どういう違いがあるのかというと…

作品……複数ページを扱える。マンガなどの作成に向いている。
ページ……1枚限りのイラストなどの作成に向いている

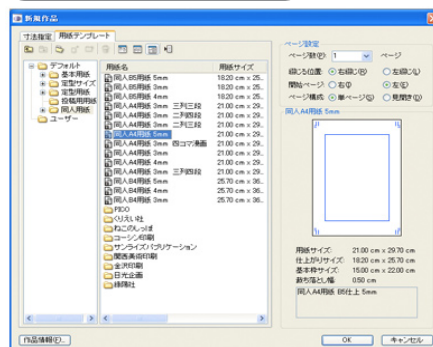
「ページ」か「作品」かは、制作する作品にあわせて選べばOKです。今回は2Pくらいのマンガの制作が目標なので「作品」を選びます。そうすると、次に新規作成のダイアログが出てきます。用紙は、自分でサイズや裁ち切り幅を決めることのできる「寸法指定」か、あらかじめ収録されているテンプレートから原稿用紙を選ぶ「原稿用紙テンプレート」から選ぶことができます。

寸法指定



自分で原稿用紙のサイズや裁ち切り幅など細かく決めることができます。

原稿用紙テンプレート

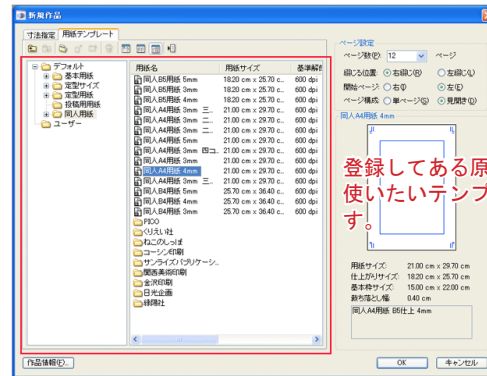


あらかじめ収録されているテンプレートから使いたい原稿用紙を選ぶことができます。

「寸法指定」だと、用紙のサイズ、内枠の位置や大きさ、裁ち切り幅なんかを細かく設定できるので、ちょっと特殊なサイズを使いたいときに便利です。今回は、原稿用紙テンプレートから選びたいと思います。

原稿用紙テンプレートで作品を作る

「原稿用紙テンプレート」では、登録されているテンプレートの中から原稿用紙を選ぶことになります。

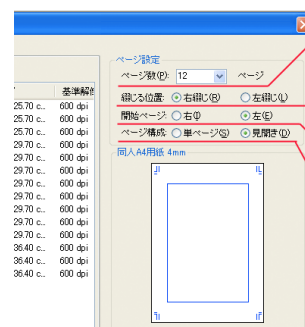


登録してある原稿用紙の中から
使いたいテンプレートを選びま
す。

今回は一番ベーシックな「A4サイズB5仕上がり(同人誌サイズ)」の原稿用紙を使用して描いていこうと思いますので、「デフォルト」の「同人用紙」の中にある、「同人A4用紙 B5仕上 4mm」を選んでください。

他にもA4サイズのテンプレートはありますが、この「同人用紙」に入っている原稿を使うと、最初からトンボと裁ち切りのところにガイドが入っているので便利です。

用紙を選んだら、次はページ数、綴じ方向を選んでいきます。



① ページ数
右側の▽ボタンを押すと、ページ数が出てくるのでそこから選ぶか、作品に必要な数字を入力します。

② 綴じる位置
マンガの場合は「右綴じ」が基本です。

③ 開始ページ
右ページ始まりか、左ページ始まりかを設定できます。

④ ページ構成
1P単位(単ページ)か、見開きで作業するかを選べます。

1 ページ数

右側の▽ボタンを押すと、ページ数が出てきます。これ以外のページ数にしたいときには、数値を直接入力します。作品を作ったあとでもページ数の増減は可能なので、あまり悩まなくてもOKです。

2 綴じる位置

マンガの場合は「右綴じ」が基本なので、「右綴じ」を選んでください。

この部分は「ページ数」以外はデフォルトでOKだと思います。
(『綴じ方向：右、開始ページ：左、ページ構成：単ページ』がデフォルトかと。)
最後に「OK」を押せば作品ができます。

さて、新規作成で作品を作ったら、次はいよいよネームです。

3 開始ページ

右ページ始まりか、左ページ始まりかを設定できます。

4 ページ構成

1P単位(単ページ)か、見開きで作業するかを選べます。これも作品を作ってからくっつけたり、離したり変更できるので、あまり悩まなくてもOKです。今回は「単ページ」を選んでください。